学校番号	318

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	情報Ⅰ Step Forward！（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会で生きていくうえで必要な情報に関するモラルや法を理解するとともに、コンピュータ技術を身につけ、情報社会に積極的に参画する力を身につけましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。

2　学習の到達目標

・課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含め、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し，受け手の状況などを踏まえて発信・伝達することができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力 ・基礎をもとに、どんなことができるか考える力	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度 ・課題の作成行った際、どこを注視し、さらに力注いだか、振り返りを行い、さらに次の課題に活かす態度
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会	情報とその特性 メディアとその特性 問題を解決する方法 情報の収集と分析 解決方法の考案 知的財産 個人情報 情報セキュリティー 情報モラルと個人の責任 情報技術の進歩と役割 情報技術が社会に与える光と影	a: 問題の本質は何であるかを知り，その問題をまとめることができる。 b: コンピュータを活用することで，仕事や生活における利点や問題点について考えることができる。 c: 情報社会に関心を持ち，自らの情報活用能力を高めようとしている。	定期考査 実習	定期考査 実習	授業観察 実習課題
	情報デザイン	コミュニケーションとメディア 情報のデジタル化 数値の表現 2進法の計算 文字のデザイン 音のデジタル化 データの圧縮 ネットコミュニケーション 情報デザイン	a: 文書情報が身の回りの生活の中で果たしている役割や種類について理解している。 b: :図形や画像情報の活用により情報の簡潔化、明瞭化、印象の強化などの効果が期待できることについて理解し、活用ができる。 c: 問題の本質は何であるかを知り，その問題をまとめ、発信することができる。また、コンピュータおよび文書処理ソフトウェアを用いて情報を編集し、発信することができる。a	定期考査 実習	定期考査 実習	授業観察 実習課題
2学期	ネットワークの活用	ネットワークとインターネット デジタル通信の仕組み 安全安心を守る仕組み データの活用とデータベース データ管理 データの分析	a：検索することで、その情報が正確なものかどうか判断できる b：情報の選定や情報の表示の仕方を理解し、適切は表現ができる。 c：問題の本質は何であるかを知り，その問題をまとめ、発信することができる。また、コンピュータおよび文書処理ソフトウェアを用いて情報を編集し、発信することができる。	定期考査 実習	定期考査 実習	授業観察 実習課題

	問題解決	検索のコツ データ量の見積もり 音楽ファイルを作成 図解表現 ピクトグラム 災害時帰宅マップ	a: 問題解決のための、さまざまな技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。 b: 問題解決のためのさまざまな方法を考え、目的に応じて、適切な解決方法を選択することができる c: 問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。	定期考査 実習	定期考査 実習	授業観察 実習課題
3学期	プログラミング	アルゴリズム プログラミング言語 プログラミングの方法 条件分岐式とくりかえし命令 配列と関数，プログラムの修正	a：javascript を使用して、まずはプログラムを理解する。 b：いくつかのプログラムを適応し 1 つのプログラムとして表現することができる c：課題を課し（答えは数通り）、適切な表現で組みながら、できた課題に対しさらなる表現を組むことができる	定期考査 実習	定期考査 実習	授業観察 実習課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度